

文星芸大附

now!

創立百周年に思う

文星芸術大学附属高等学校教頭 大木 廣 巳



私は、一昨年、長く住んでいたさくら市氏家の地から下野市に転居した。私にとって、これが十一度目の転居である。終(つい)のすみかと言えるかもしれない。でもそこは、鬼怒川と田川の流に挟まれ、まわりは水田とタマネギ畑・かんぴょう畑ばかりの静かな農村地帯である。小さいながらも永年の夢であった家庭農

園を敷地内に作る事ができ、さらに、柿や梅、柚、枇杷の木もあって果物の実りも多い。また、白木蓮や山菜蓂(さんしゅゆ)の古木もあって風雅の雰囲気、心を少し漂わせており、心落ち着く場所でもある。今は、雑草取りと畑の手入れで休日のほとんどは終わってしまうが、充実した毎日を過ごせているという思いが強い。これから人生の終焉を迎えるまで何年何十年あるかわからないが、一年一年、一日一日をしつかりと過ごそうと思っている。

さて、本校は、創立者上野安紹先生が宇都宮市埴

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
<http://www.bunsei-art.ac.jp>
発行 教務部・学報編集係

田の地に「宇都宮実用英語簿記学校」を設立してから百周年を迎えた。これまで、校名をいくたびか変更し、校舎もまた、一の沢町、現在の睦町と移り変わったが、それが百周年の歴史でもある。毎年四月に新入生を迎え、三月に卒業生を送り出していくことは、春に種を蒔き秋に収穫していく農作業にも似ている。草花の一年にも似ている。

多くの先生方が生徒一人ひとりに手をかけ、知識という肥料を与え、時には余分な枝葉を落として成長させてきた歴史、あるいは、生徒の一人ひとりが大地から自ら芽を出し、水や肥料を得て生長し、花開かせてきた歴史、それが本校の百年であろう。ここで言えることは、きれいに咲く花も見事な実も無から生まれたものではない。あくまでも、生徒という種子本来が持っていた個性を成長させたものである。

これまでの三万名を超える卒業生の一人ひとりが、自分という者が持つ他の人にはない特性を成長させようと努力してきた

文星芸大附now!
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。

た積み重ね、それが本校の歴史であり伝統なのだと言えよう。

生徒諸君!

燃えよ!!

先輩に続け!

そして

本校創立百周年万歳!!

中学校行事予定

▽七月

20日(水) 第一期終業式
21日(木) 22日(金) 28日(木) 29日(金) サマースクール(学校開放)
25日(月) 27日(水) サマーキャンプ
(一年) 羽鳥湖高原
レジーナの森
福祉施設体験
(二年) ケアプラザ等

▽八月

4日(木) 6日(土) 英語研修
(二年) プリティシアンズ
19日(金) 全校登校日
20日(土) 一日体験学習
22日(月) 26日(金) 夏季講習会(全学年)
28日(日) 下野新聞模擬テスト(三年)

▽九月

1日(木) 第二期始業式
3日(土) 学習会
10日(土) スポーツフェスティバル
13日(火) 16日(金) 修学旅行(二年)
17日(土) 総合的な学習(一・二年)

高校行事予定

▽七月

20日(水) 第一期終業式
21日(木) 29日(金) 夏季特別授業(前期)
25日(月) 野球応援(一年)
(硬式野球準決勝)
26日(火) 野球応援(二・三年)
(硬式野球決勝)
29日(金) 甲子園出場時全校登校日

▽八月

17日(水) 18日(木) 全統マーク模試(英三年)
18日(木) 企業別推薦選考会議
19日(金) 全校登校日
20日(土) 一日体験学習
(宇河地区以外)
21日(日) 一日体験学習
(宇河地区)
22日(月) 30日(火) 夏季特別授業(後期)
クワース登校日(普通科三年)

▽九月

1日(木) 第二期始業式
5日(月) 校内漢字テスト
13日(火) 17日(土) 修学旅行(二年)

- 1 p <創立百周年に思う>
- 2 p <夏季特活期間の過ごし方>
- 3 p <輝け! 文星健児>
- 4 p <社会科学・体育大会>
- 5 p <文星散歩道⑮>
- 6 p <文星フォトギャラリー>

百歳萬歳

高等学校

夏季特別活動 期間の過ごし方



進学指導部長
馬場 義浩

三年生はいよいよ進路決定の最終段階に入り、学力の伸び悩みなど心配事は多いと思います。しかし、現役受験生は、夏の過ごし方で本番まで成績が上がるというのも確かです。ですので、少し高いレベルを目指して努力していくことが大切です。

一・二年生においては、家庭学習の習慣化と定着を図り、基礎学力の徹底と充実をこの特活期間中に達成するように心がけてください。そして、進学を希望している生徒は、一年次から積極的にオープンキャンパスに参加して下さい。参加することで学校の特徴はもちろん、進学意欲が高められ、モチベーションの上昇や入学後のミスマッチを防ぐなど様々なメリットがあります。実際に体験や模擬授業

を通してその学校を理解することができ、志望理由の明確化に役立つことと思います。そしてそれは推薦入試やAO入試の対策にもなりますので、特活期間中のオープンキャンパスへは、積極的に参加し活用していただきたいと思います。



就職指導部長
湊 谷 浩 司

今年も七月一日から求人受付が始まり、就職を希望する生徒たちは求人票をもとに指導部へと殺到し活気を見せている。しかしその反面、いまだ世の中の雇用情勢は安定しておらず、事業所の出足も鈍く、今年もまた厳しい現状の中で就職戦線に臨まなければならぬ。しかし、どの時代の生徒も楽に就職したことはなく、どの生徒も志望先をどこにするか迷い、悩み、相談し、そして決めていくのである。そして何より大切なのは「己を知り敵と戦う」ということである。

就職戦線まで残された期間は約二ヶ月あるが、その限られた時間の中で、どこ

まで自己覚醒し成長できるかが大きなポイントであり、人生の岐路になることは間違いない。今年も就職希望者全員の進路が決まることを信じ、最大限のサポートをしていきたい。



生徒指導部長
大 塚 晃

夏季特別活動期間は、自ら計画を立てて物事を実行することで、自立的な態度を養い、心身を成長させる絶好の機会です。無計画で不規則な生活は大きなマイナスとなり、無気力や怠けにつながります。開放的な雰囲気の中で生活が乱れやすく、問題行動や事故に巻き込まれることも懸念されますので十分注意して下さい。また、三月の東日本大震災は、私たちの生活に影響を及ぼしたと同時に、何気ない普段の生活の大切さを改めて教えてくれました。

特活期間は家族間の対話の時間を増やし、絆を深め、そして有意義な期間になるよう努力して下さい。

校内体育大会

雨が心配された中、六月八日(水)に本校グラウンドと体育館において、創立記念式典および新入生歓迎校内体育大会が行われた。

この校内体育大会は、秋の「雄飛祭」や「秀文杯」と同様に、本校を代表する大きなイベント。本年度の競技種目はサッカーとバレーボール。各クラスの団結力が試されるこの大会で、素晴らしいプレーが繰り広げら

れた。

サッカーの試合では、各クラスとも若者らしい熱い試合を展開。砂煙の中でのパスワーク、シュートの連続はまさに圧巻でした。

また、バレーボールでも、ファインプレーが光るチームが多くあり、会場を大いに沸かせていました。

競技を通じてクラスが一丸となり、勝利に向かって進むという経験は、青春のページにおいて大きな財産になったことと思います。

大会 結果

二種目総合

【優勝】

一年 一組
二年 八組
三年 八組

【準優勝】

一年 十二組
二年 六組
三年 六組

【三位】

一年 五組
二年 四組
三年 九組

総合学習・総合体験

普通科総合コース

《自動車》

六月二日(木)より、三年生の希望者を対象に、小型車両建設機械作業資格講習フォークリフト運転特別教育講習を実施しました。三年生では、進路選択に有利な資格取得に向けて取り組んでいきます。今年度も多様な検定に向け、各自が意識を高めていました。

《調理》

六月七日(火)、文星短大

で製パン実習が行われ、講師の野澤先生の熱心な指導のもと、アンパン・ポテトミルクを作りました。普段の実習では体験できないパン生地の手触りに生徒たちは喜びを隠せない様子でした。

また、野澤先生の貴重な経験談なども聞かせていただき、楽しい中にも緊張感のある時間を過ごしました。

《ゲームCG》

五月二十四日(火)、文星芸大で体験学習を行い、ホームページ等で利用されているFlashによるアニメーションを製作しました。生徒たちは、一瞬の動きの

中にも多くの工程があることと学び、貴重な時間を過ごしていました。

総合ビジネス科

六月十六日(木)、埼玉県春日部市にて首都圏外郭放水路の実地見学を行いました。地下神殿とも呼ばれており、洪水から人々を守るために建設された巨大な調圧水槽は、生徒たちに強い印象を与えました。

普段なかなか目につみにくいこのような施設を見学することで、「仕事」が社会を支えているということを再確認できたようです。

輝け!! 文星健児 部活動報告

七月末から北東北4県で開催される高校総体「2011熱戦再来 北東北総体」の県予選会(以下IH予選)が行われました。その主な結果をご報告いたします。
※(英)＝英進科、(普)＝普通科

卓球部

澤島選手個人戦を制覇し
全国大会出場!

六月十日(金)から十二日(日)に行われたIH予選の団体決勝戦で作新学院と対戦。インターハイ出場をかけて接戦を繰り広げるも惜敗し、準優勝となった。

一方、個人戦で、澤島雅孝選手(普三年)が決勝に進出。近藤選手(作新学院)を退け、六月の関東大会に続き県大会を優勝で飾って、インターハイに駒を進めた。

なお、澤島選手は七月十三日(日)から開催された「2011ベトナム・ゴールデンラケット大会」に日本代表として出場した。



テニス部

山口選手準優勝
悲願の全国大会出場!

五月二十八日(土)、二十九日(日)、六月五日(日)にIH予選が行われた。

団体戦決勝で足工大附属に敗退し、惜しくも全国出場を逃したが、シングルス準決勝戦で、本校の山口優紀選手(普一年)が決勝戦に進出。油布選手(足工大附)に敗れるも、見事にインターハイ出場権を獲得した。

また、山口選手は荒井翔(普一年)、遠藤康太(普一年)、阿久津亮汰(普二年)選手とともに、七月十五日(金)から開催される第85回関東ジュニアテニス選手権大会への出場も決めている。

バスケットボール部

無念の準優勝

全国大会出場ならず

六月二十六日(日)に行われた決勝戦でライバル宇都宮工業と対戦した。インターハイ出場をかけた意地のぶつかり合いとなったが、惜しくも準優勝となった。

柔道部

各階級で健闘団体3位

六月十一日(土)に行われた66kg級決勝で本校の嶋田

絢伍選手(普三年)が佐藤選手(国学院)と全国大会出場を争い、惜しくも準優勝となった。また、同階級の井端亮介選手(普三年)と、81kg級の小池侑選手(普三年)が3位入賞を果たした。また、六月十九日(日)に行われた団体戦においても、3位入賞を果たした。

剣道部

団体3位

六月十六日(木)に行われたIH予選に本校剣道部が出場。準決勝戦にて今大会の覇者小山高校に敗れ、3位入賞となった。

将棋部

小倉君、全国大会へ!

七月九日(土)、十日(日)に行われた全国高校将棋竜王戦県予選会に、本校将棋部が出場した。

決勝戦、本校の小倉一富史君(英三年)は窪君(作新学院)を下して優勝し、八月二十三日(火)から福岡県で開催される、第24回全国高校将棋竜王戦への出場権を獲得した。

珠算部

暮林君、全国大会出場!

六月四日(土)に開催され

た第58回全国高校珠算電卓競技大会県予選会で、本校の暮林翔真君(普二年)が電卓部門で3位に入賞し、八月二日(火)に東京で行われる本戦出場を決めた。

《関東大会結果》

卓球

第61回関東高等学校卓球大会

(団体)

2回戦進出

(個人)

澤島 雅孝

優勝

(ダブルス)

澤島・小堀有介(普一年)

3回戦進出

剣道

第58回関東高等学校剣道大会

(団体)

ベスト16

柔道

第59回関東高等学校柔道大会

(団体)

2回戦進出

陸上競技

関東高等学校陸上競技選手権大会

「円盤投げ」
安達 卓也 33m 45
「石川」 稜 32m 46
「田代美砂希」 32m 38
「砲丸投げ」
田代美砂希 11m 77
安達 卓也 11m 74
「ハンマー投げ」
石川 稜 38m 48

激闘!! 甲子園県予選

第93回全国高校野球選手権栃木大会が七月九日(土)に開幕しました。県内の強豪校との激闘を、ぜひ球場で観戦しよう!

準々決勝

七月三十一日(木)

11時30分試合開始

準決勝 七月二十五日(月)

9時試合開始

決勝戦 七月二十六日(火)

12時試合開始

(三試合とも県営球場)

被災地ボランティアに参加して

軟式野球部

主将 成田 聖哉

五月二十八日、私たち軟式野球部十二名は、宮城県ヒケ浜町でのボランティア活動に参加し、餅つきと下野鍋の下拵えや配膳を担当しました。現地の惨状を目

の当たりにし「私たちに何ができるのか」と思い不安

でしたが、多くの方々から「ありがとう」という言葉を

いただき感謝無量でした。

被災された方々に心を寄

せて同じ時間を共有できた

ことは貴重な経験となりました。

検定試験取得状況 (六月末現在)

第122回全商電卓検定

【二級】

御堂進ノ介 吉池 研雄

【普通計算一級】

島田 天佑 渡邊 伸将

川音 拓真 神田 圭太

野澤 由樹

【ビジネス部門二級】

金田 亮太 木村 達也

清水 雄斗 高野 耕司

倉井 一樹 鈴木 俊介

浜本 周 福島 元寿

三浦 一也

第72回全商簿記検定

【二級】 鈴木 将太 長澤 颯汰

【会計一級】

橋本 拓也

【二級】 市村 拓也 海老原佑基

島田 天佑 諏訪 雅幸

牧野 和輝 吉池 研雄

第44回全商ワープロ検定

【二級】 鈴木 啓之 鈴木 亮

【二級】 阿久津圭汰 阿久津友汰

暮林 翔真 長澤 颯汰

高屋敷雄太 宮嶋 拓哉

【三級】 倉井 一樹 小倉 晃平

佐藤 陽平 園部 大樹

平野 幸冬 屋代 幹人

中 学 校

夏季特別教育活動
期間の過ごし方生徒指導主任
山 本 誠 一

夏季特別教育活動期間(夏休み)は、四十四日間に渡る長い休みですが、過ごし方ひとつで、楽しい夏休みになったり、つまらない夏休みになったりします。より良い夏休みにするために、自主的に計画を立案し、成果が上げられるようにしてもらいたいと思います。また、生徒諸君一人ひとりが、第二学期始業式に全員無事に元気で登校できるようにしてほしいです。そのために、私からいくつかの留意点を述べますのでよく考えてみてください。

一つ目は、自分の計画をきちんと立て、計画表を作成してください。最優先する学校行事を把握し、それから家族旅行の予定、学習計画などを立てることが良

いでしょう。特に、課題は早めに終わらせることが大切です。

二つ目は、事故や事件などに遭わない、巻き込まれないということです。夏休みは様々な誘惑に陥りやすい時期でもあります。軽率な行動を慎み、中学生らしい行動を心がけてほしいと思います。また、携帯電話等のトラブルも非常に多くなっています。夏休み中は開放的になりがちですので、十二分に気をつけて使用するように心がけてください。

三つ目は、夏休みの長い期間、学校から離れて家庭中心の生活をするわけですから、家族とのコミュニケーションを十分にとつてほしいと思います。外出をする際には、必ず行き先や帰宅時間、誰と行くのかなどをきちんと家族に伝えるようにして下さい。

この三つのことに留意し、有意義な夏休みであったと言えるようにして下さい。夏休みを通して、一回り大きく、たくましくなった生徒諸君に会えることを楽しみにしています。

社会科見学

野木町煉瓦窯・
渡良瀬遊水地

六月八日(水)の本校の創立記念日に、中学校では「野木町煉瓦窯・「渡良瀬遊水地」への社会科見学が実施されました。

野木町煉瓦窯は、国の指定重要文化財にもなっており、「ホフマン窯」という世界的にも珍しく貴重な窯です。そこでは野木町役場の方々から説明を受けてきました。

渡良瀬遊水地では、歴史に関することや足尾鉍毒事件との関わりについて、遊水地を管理しているアクリメーション財団の方々から説明を受けてきました。

生徒の感想を紹介します。

生徒の感想

二年一組 鈴木 理仁

私たちは今回社会科見学で、「野木町煉瓦窯」と「渡良瀬遊水地」に行きました。

野木町煉瓦窯は、正式名称を「旧下野煉瓦製造会社煉瓦窯」と言うそうです。ここで作られた煉瓦は、主に東京等に出荷されており、赤レンガで有名な東京駅

にもこの煉瓦窯で作られたものが使われているそうです。この窯は日本全国でも珍しく、完全に原型をとどめているものは他には無いそうです。

渡良瀬遊水地は、渡良瀬川の氾濫を防ぐために使われています。旧谷中村などの遺跡もあり、足尾鉍毒事件とも関わりが深い場所です。また、所々土地が盛上っている所があり、それは昔、人々が住んでいた時に、水の浸水を防ぐためにそのようにしていたそうです。敷地内にはヨシがたくさん生えており、ヨシ原と呼ばれているそうです。また、桑の実などもたくさんなっていて、とても自然豊かな所でした。



1年1組 野木町煉瓦窯にて

新入生歓迎体育大会

五月二十一日(土)に、新入生歓迎体育大会が開催されました。

本年度から共学となり、初めて女子生徒を迎え入れるということで、生徒会が中心となって、新入生に楽しんでもらえるように種目を工夫し、開催することができました。

今回は、男女混合の縦割り四チームに分かれ、計三種目の競技を行いました。また、競技の間には、生徒会による出し物等も行われ、大いに盛り上がりしました。

また、晴天にも恵まれましたが、予想以上に気温が高く、熱中症なども心配されましたが、大きなケガ等もなく無事に終了することができました。

実施した種目名と結果は次のとおりです。

種 目

・障害物競走
・ドッチボール
・リレー

結 果

優勝 黄色チーム
準優勝 青色チーム

生徒会長から

生徒会長
高 橋 英 統

今年の新入生歓迎体育大会は、例年とは違ったものになりました。昨年までは、サッカーやバレーボールなど一つのスポーツをトーナメントや総当たりでやってきましたが、今年は、いわゆる運動会のような、多競技での得点形式になりました。そうしたことで、今までよりも更に盛り上がりました。競技は「障害物競争」「ドッチボール」「リレー」の三つでした。どの競技も、一年生が中心になるようルールを工夫しました。また、競技間の休憩時間には、生徒会で出し物をやりました。それぞれの持ちネタを披露したり、生徒会全員でダンスをしたりしました。生徒会は、なんとかこの大会を盛り上げようと、必死に頑張りました。新入生を大いに歓迎でき、学年の絆も深まったこの新入生歓迎体育大会は、とても楽しい時間となりました。

総合学習 茶道

今年度は一年生を対象に総合学習の一環として、日本の伝統文化である茶道を実施することになりました。昨年に引き続き、茶道裏千家の高山典子先生を月に一度お招きし、茶道を通じて日本人の心や礼儀作法の基本配りの心などを養っていきます。

生徒の授業の感想を紹介します。

生徒の感想

一年一組 井上 友貴

今回の茶道ではまず、調べ学習の発表から始まりました。調べ学習で、特になるほどと思ったことは三つあります。

一つ目は、お菓子を食べるのは、一服のお茶をおいしく味わうためだということです。お菓子の甘さが口に残っている時に苦みのあるお茶を飲むことで、お茶のおいしさというものが分かるのだなと思いました。

二つ目は、茶道のマナーの「時計や指輪をはずす」ということには、身分の差をはずして、みな平等である

という意味があるということです。

三つ目は、掛軸のテーマを読み取るということです。たった四文字も、伝えたいことは意味深いんだなと思います。

発表会が終わると実習に入りました。実習で驚いたことは二つあります。

一つ目は、「ものを清める」ということが多いことです。棗や茶杓も汚れていないようにふくさでふき、清めます。私はこうすることで、心を落ち着かせ、清めているのかなと思いました。

二つ目は、茶碗をふいたり茶巾をたたんだりする順序が複雑である、ということです。特に、茶碗をふく時は、指の使い方と茶巾の使い方が難しく、覚えるのが大変でした。

今回の茶道では、本格的に作法を学ぶことができ、とても楽しかったです。次回も楽しみです。

一年二組 酒井 貴寛

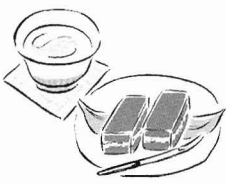
二回目の茶道では、茶道のルールを調べました。ルールを調べてみると、様々な作法に意外に深い意味があることが分かりました。また、茶道の作法が、日々の

生活に役立つということも分かりました。

実習では、一回目に習ったことが生きました。家で何回も練習したふくさばきも、うまくできました。また新しく出てきた道具の扱いも、先生や友達からの指導と練習で、最低限のところまでできるようになりました。手首の動きがとても難しかったので、家でも練習し、次の茶道の時間の時には完璧にできるようにしたいと思います。

今回のお菓子は主菓子でした。この前の下菓子とはまた違う味を楽しむことができ、また、お菓子は今の時期にぴったりのもので、目で見て楽しむこともできました。調べ学習で、お菓子の必要性も分かったので、より深く味わうことができたのだと思いました。

茶道の学習で調べたことを忘れずに、礼儀や感謝の気持ちを持っていくように強く思いました。



部活動情報

将棋部

将棋部は六月五日(日)個人戦と二十二日(日)団体戦に参加してきました。

団体戦は五連覇がかかっていた大会でしたが、六チーム中第二位という結果でした。

個人戦では、二年生二名が上位に入賞しました。

準優勝 二年 原田 拓
第三位 二年 岡本 一仁

県大会出場おめでとう

六月二十四日(金)に行われた宇河地区水泳大会において、一名が標準記録を突破しました。

五十メートル自由形

一年一組 神長慶一郎

二百メートル自由形

百メートルバタフライ
一年一組 中村 峻輔

宇河地区総体始まる

三年生にとっては最後の大会です。三年間の集大成として、頑張ってください。

文星散歩道

(題字 大木教頭)

⑮ 「郷土愛」

柵山英樹(数学科)

栃木県には4つのプロスポーツチームがある。サッカーチーム・栃木SCはそのうちのひとつだ。栃木SCとの出会いは今から11年前、当時在籍していたある選手からチケットをいただき、せっかくだから観にいった。みようと家族でかけたのが始まりである。子供がいるからほかの観戦者の迷惑にならないようにと、アウエー側と知らずに空いているほうへいって観戦する位の無知であった。そのころチームはまだJリーグに所属しておらず、

参入を狙ってプロ化が進められている最中であつた。元が教員チーム、一時本学園でも練習していたということもあって、そんな栃木初のJリーグチームになるかもしれない地元チームを応援しようと、スタジアムに通うようになった。次第に家族にも熱が広がり、今では全員が年間バスポートを所持、栃木SCの日程を確認してから週末の予定を立てる。アウエーを中心に行けないときの試合のため

に今年はスカパーにも契約。いける試合はユニホームとタオルを持って開門前に並ぶ。かなり熱の入れようである。サッカーを通じて家族団らんのひとつを過ごせる。また交友範囲も広がり、いまや私にとっては生活の一部になっている。今年チームはJ1に昇格できる成績ではあるが、まだ知名度が低く観客動員数も少ないのが非常に残念である。

夏休み中にも試合が組まれている。ぜひ一度足を運んで栃木のプロスポーツを応援してほしい。皆さん、栃木SCを通じて郷土愛を育んでみてはどうでしょうか。

文星フォトギャラリー

高校／新入生歓迎体育大会



自動車整備／高所作業・フォークリフト実習



調理／短大実習



中学校／社会科見学



中学校／新入生歓迎体育大会